

番号	質問(↓)\日本人通算番号	7	8	9	10	11
1	参加年次	2009年	2009年	2009年	2009年	2009年(未回収)
2	6週間という期間をどう思いますか。	ちょうどよい	個人的には短かったと感じる。	適当。代案:3週間x2回として、業務上の影響を緩和、前半での課題を後半に解決する時間的猶予を取る。	プログラムを考慮すると適切	
3	研修での講義内容がその後の業務に役立ったという感じはありますか。	講義そのものが直接役立ってはいませんが、将来を見据える格好の動機付けになった。	業務に直接は役立たない。モチベーション向上、今後の進路を考える良い契機になった。	講義は広く浅く業務との関連は浅い。新知識等はなく業務に直接活かしている実感はない。	様々な機関の視点を身につけることができた。	
4	ワーキンググループ活動の方式(進め方など)、内容でその後の業務に役立ったという感じはありますか。あるとすれば、例えばどんな?	3回もグループわけが必要だったかどうか。(グループを固定することで)ある程度の居心地のよさも、より濃厚な議論をするためには必要であろう。	英語力が不十分で、研修中はサポーターの立場が多かった。この経験から、グループワークでは発言できない人もいると考えて多くの人の意見を求めるようにしている。	積極的発言などグループ活動への貢献が求められたWNUの経験で、業務上の協議等でも以前より発言回数が増した。異なる「引張り方」を実見し、日常会議等で役立っている。	ある決まった形式がないことを認識した。必要最低限のルールを守れば、後は自分が正しいと感じる方法でよい。	
5	Forum Issueの検討プロセス(やり方、時間、他)は満足でしたか。	各人の情報に質的量的ばらつきがあり、ベクトルをそろえる時間を要した。情報を事前に収集・学習できれば、短縮できた。	概ね満足。もっと、早い段階で着手して良い。研修の姿勢がForum Issueを意識したものになり、最終的なプレゼンの質も向上する。	同じ関心を有しているフェローとの時間は、議論が深くなり易く、有意義であった。	満足	
6	講義後のPlenaryはやり方、時間で改善したい点はありませんか。	非常にいい。多くの参加者に話すチャンスを与えるという趣旨で、非英語圏出身者が発言し得ており有効であった。	グループ討議の部屋との行き来に時間を要した。2度の往復は避けるべき。	講義直後と夕方Plenaryと2度のQAセッションは不要。直後は止めてグループ討議や夕方のPlenaryで質問・意見を出せばいい。	移動時間が多い	
7	研修参加前の期待に反した点はあるものがありましたか。	半分遊びに来ているのではないと思われる連中もいた。	内容が予想以上に一般的であったこと。ただし、参加者のバックグラウンドが異なるのであれば仕方ない。	フェロー・講師ともに参加者が思った程、多様ではなかった。欧米の参加者が相対的に多過ぎる。	ネイティブ・スピーカーや欧州からの参加者が未だ多い。	
8	研修全体が、WNUの目指す「指導者育成」になっていると思う点はありますか?	Leadership研修が頻繁に行われたところ。	グループワークでメンバーの役割を認識できることは、将来グループの仕事でリードする参考となる。	1. リーダーシップを発揮し、主体的に取り組む事で、得られるものが多い。 2. リーダーシップ実習、多様な価値観を通し、指導者に必要な要素が得られる。	世界的に有名なリーダーと接する機会	
9	同上、なっていない点は?	Leader像が画一的。欧米出身者、特にMilitary出身者が多い。アジア文化圏でこのLeader像が受け入れられるとは思えない。	指導という要素が少なかったと思う。	考え方が欧米に偏っており、指導者に求められるであろう、多様性が鍛えられない点。		
10	研修内容で、あれが有れば良い、と思う点はありませんか。	アジアのリーダーの講義、電力・規制・ベンダーからの講義	レクチャーでの課題提示→グループ討議→Plenaryでグループ間Debate	アジアなど、似たバックグラウンドを有するフェローによるグループワーク。 原子力に否定的な講義、課題認識 原子力分野以外の講義(トヨタのQC、他業界のPR活動等原子力にも応用出来るもの)	事前の資料配布。 ノン・ネイティブには、未経験トピックの議論は辛い。予習時間が欲しい。	
11	研修全体で、あれはあまり意味がないというものはありましたか。	Climate Changeは長すぎる。Export Control(DOE)も米国の観点に偏っている。	ツアーを削って講義を増やした方がよい。工場見学は、楽しいだけで終わる。	専門的過ぎる講義(プレゼン資料の事前予習が必要?)や、重複内容が多かった。	特になし。	
12	周囲の同僚に参加を勧めたいと思いますか。	Yes	はい	個人的には得られたものが大きく、勧めたい。	Yes	

WNU SI 2009フェローの声  
座談会ビデオはこちら

番号	質問(↓)\日本人通算番号	7	8	9	10	11
1	参加年次	2009年	2009年	2009年	2009年	2009年(未回収)
13	私自身は「研修で大きな益を得るには、原子力の知識、英語力、指導性のうち二つは欲しい、一つでは苦しい」と考えます。この考え方にご意見ありますか(賛成、反対、別意見、何れも歓迎)。	英語力は必須、「私は英語ができます」と言える程度に。原子力の知識はばらつきがあり、必ずしも必須ではないが先進国の参加者のレベルは高い。指導性に関しては今回のLeadership像が欧米スタイルに特化し過ぎていた。WNU SIの中で多面性・多様性をより出せれば良い。	<今後のリーダーという観点で> ・指導性というより、対人能力・方向感覚(ソフトスキル)。「指導性が」コミュニケーション能力、交渉力、力強いリーダーシップ、バランス感覚等のスキルを意味するならば全部賛成。 <WNUの研修参加という点で> ・指導性はあればベター。最低限は積極性。	【大きな益】を得るには、三要素がバランス良く必要。二つは最低条件であり、一つでは苦しくまた得るものが限定され、有意義なWNUの場を十分に活かせず「勿体無い」。	その通りであると感じる。自分にはもう少し英語力が欲しかった。	
14	研修終了後、他のフェローとの往来、連絡の実績はどのくらいありますか。	時々メールをしたり、Web上で連絡を取り合ったりしています。	全体メールでやり取りする程度、なかなか連絡する機会はないが、連絡したいとは思っている。	適宜、実施中。	多数	
15	同上、最近1年ではどうですか。	N/A	—	—		
16	その他、研修で感じた点があれば何でもお書きください。	(1)来年以降も自分の周りから継続参加できる仕組みを作りたい、(2)同期Fellowとのコンタクトを継続したい。 現状ではOff-businessの話題が中心でbusiness的にはプレス情報の交換程度。将来これをbusinessに直結させたい。自分も相手に期待されるように精進したい。	有意義な研修であったと思う。	非英語圏からのフェロー向けに、事前に講義資料を配布して貰えると、生産性が上がると考える。	非常に良い経験であった。	